

2022年度

特定非営利活動法人さくらザウルス 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

全体総括

新型コロナウイルス感染防止対策下での生活は3年目となり、ひろば・居場所を訪れる保護者のほとんどがコロナ禍での子育てしか経験していないという中、少しずつではあっても、以前のような“ふれあい”や“にぎわい”を取り戻していこうと工夫を重ねた一年でした。

4月の桜まつりと8月の南まつりが合体し、区民まつりとしては3年ぶりの開催だった「第1回みなみ桜まつり」は残念ながら天候に恵まれず中止となりましたが、久しぶりに全ひろばが協力して一つの行事に向かう雰囲気を感じることが出来ました。

組織運営の面では、サブスタッフのボランティア謝金の増額を十数年ぶりに行ない、合わせて定例会議や外部会議への代表出席などの謝金も見直しました。また、四施設合同会議の出席者はなるべく理事以外のスタッフも出席するようにして、より多くのスタッフが法人全体の動きを共有できる機会を作りました。

法人本部事業

事業名	「さくらザウルスホームページ」運営事業
内容	ホームページ内法人ページの管理。

事業名	子育て応援ネットワーク事業
内容	全国子育てタクシー協会との連携。 〔提携内容〕 ・事業対象者のニーズ把握とPR協力 ・利用者からの苦情取り次ぎ窓口

外部ネットワークの活動や委員会への参加

南区社会福祉協議会関連	南区社会福祉協議会評議員（市民活動・ボランティア部会代表）、南区ボランティアセンター運営委員を受任。
0123ヨコハマ おはなしネット	横浜市内で乳幼児を対象とした読み聞かせ（おはなし会）活動を行っている個人や団体によるネットワーク。南図書館を拠点に、情報交換や学びあいの場を持っている。おはなしスタッフが、隔月開催のミーティングや研修会に参加した。
よこはま地域子育て 支援拠点ネットワーク	横浜市18区地域子育て支援拠点による自主的なネットワーク。拠点事業に関する課題解決を図るために、情報交換・事例検討・学習会を企画、実施した。
インターンシップ受入れ	NPO法人アクションポート横浜がコーディネートする、大学生と各分野のNPOとのインターンシップのマッチングに参加。希望する学生を夏休み期間受け入れた。

2022(令和4)年度 親と子のつどいの広場事業

さくらザウルス蒔田ひろば 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

事業の成果

開館時間は10時～16時で通して開館し、途中12時を目安に消毒を行った。引き続き、入館時に手指の消毒・検温・手洗いをお願いしている。1時間ごとに5～10分程度換気も行っている。定員は6組くらいとして、6組目以降対応は柔軟に対応した。利用者さんに判断してもらうことを基本としたが、混雑時は「入館制限中」と玄関に掲示することにした。プログラムの参加人数は前年度同様、6組（ベビーピクスは5組）とした。

ランチタイムは引き続き中止としている。

定員を設けることでスタッフも1人1人と丁寧に向き合う時間が取れたが、10月以降、利用人数が増え始め、3月は特に込み合う日が多かった。込み合っているときのひろば内での動きやスタッフ間の連携の取り方などをスタッフ会を利用して確認した。

特に0歳児の利用が多く、保育園に入園するまでの時間でひろば利用を楽しんでいるように感じた。また、今年度は仕事に復帰後も平日のお休みを利用して来所してくれる方が増えた。

チャリティショップは引き続き、1人ずつ10分程度の利用としている。

一時預かりは、ひろば利用上限を設けている関係で1組としている。時間が重ならない場合は、2組目も受け入れている。ランチタイムを挟む預かりがほとんどなので、昼食は可能としているが、担当はお子さんの昼食終了後、別で済ませている。

7月に「にこにこサロン+ピラティス」の内容を見直し、「ピラティス+おしゃべりタイム」としてピラティスの時間を30分から45分に、助産師による「おしゃべりタイム」はテーマを設けずに気軽に子育てについておしゃべりをしてもらう時間とした。「にこにこサロン」の見直しに合わせて、新たに「助産師さんの子育て・孫育て講座」を年間4回実施した。パパや復職したママも参加しやすいように土曜日開催の日を設け、助産師の希望により子育てにかかわる方ならどなたでも参加可能とした。赤ちゃんタイムのも合わせて「助産師訪問日」を設けた。普段の何気ない不安や疑問をリラックスした雰囲気の中で話せ、利用者だけでなくスタッフもスキルアップにつながっている。

年間2回実施していた「教育資金ミニセミナー」は講師の都合により、今年度で終了となった。

3年ぶりに近隣中学校の職場体験で学生2名、蒔田ひろばでは久しぶりに学生インターンを3名、夏休みを利用した元利用者の高校生ボランティア1名を受け入れた。

地区センターでの出張おはなし会は中村地区センターで年間9回、大岡地区センターで年間5回実施した。

コロナ禍でのプログラム開催は前年度の経験を活かし、キッズタイムでは自宅や普段のひろばでは出来ない、のびのびとした工作の時間を提供できた。

新たなプログラムとして「パパ講座」と近隣音楽教室の講師を招いて「なんでも太鼓でリズム遊び」を実施した。どちらもひろばスタッフでは出来ない内容となり、参加者の満足度も高いプログラムとなった。来年度も引き続き開催したいと思う。

スタッフ会議では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関するマニュアルの確認などの他に、スタッフ研修として、「傷病者緊急対応マニュアル」「吐しゃ物処理対応マニュアル」の読み合わせと救急箱や吐しゃ物処理セットの中身の確認、対応のシミュレーション、「地震発生時の初動マニュアル」の読み合わせ、備品の確認、ロールプレイで動きの確認をした。またひろば開館時に、利用者も加えて避難訓練を行った。チーフ会議では、ひろばチーフスタッフを中心に「ひろば対応の基本」について意見交換し意識向上に繋がった。2月のスタッフ全体会議では、助産師による「親の役目、こどもとのかかわり方」の講座を実施した。

① 親子の交流・集いの場の提供事業

事業名 親と子のつどいの広場「蒔田ひろば」事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日の10時から16時（ただし、祝日・特別休館日を除く）開館。 ・施設は、横浜市南区榎町1-1-5フレア吉原1階を借り上げて整備。チャリティーショップを併設。 ・乳幼児とその親（養育者）が集い交流し、自由に過ごせる場の提供。 ・2人以上のスタッフが常駐し、日常的な子育て相談や遊びの見守りを行った。 ≪利用実績≫							
月	4	5	6	7	8	9	
開所日数	17	18	20	18	18	19	
利用人数	213	246	316	274	271	345	
平均人数	12.53	13.67	15.80	15.22	15.06	18.16	
利用組数	101	118	153	130	120	167	
平均組数	5.90	6.56	7.65	7.22	6.66	8.79	
月	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	18	19	15	18	17	20	217
利用人数	429	392	327	345	353	485	3996
平均人数	23.83	20.63	21.80	19.16	20.76	24.25	18.40
利用組数	208	194	155	168	169	236	1919
平均組数	11.55	10.21	10.33	9.33	9.94	11.80	8.82
・ひろば内でプログラムを実施 ≪プログラム実績≫							
プログラム名		回数	参加数	プログラム名		回数	参加数
ベビーピクス	学習	12	50 組	幼稚園選び座談会	学習	1	4 組
にこにこサロン+ピラティス	相談	3	9 組	つぼみザウルス	交流	1	6 組
おはなし会	体験	10	58 組	防災タイム	学習 交流	1	5 組
おもちゃ病院	援助	12	38 件	避難訓練	体験	6	27 組
お誕生会	交流	0	0 組	手作りおもちゃ制作（ペットボトルウォーター）	交流	2	11 組
キッズタイム	体験	4	18 組	クリスマス大人向け工作	交流	1	6 組
教育資金セミナー	学習	2	5 組	クリスマスはなし会	体験	1	6 組
赤ちゃんタイム	交流	23	103 組	ハロウィン工作	季節	1	—
保育士相談日	相談	2	13 組	ハロウィンフォトスポット	季節	1	—
保育・教育30分11相談日	相談	4	7 組	ひな祭りフォトスポット	季節	1	—
子育てパートナー相談日	相談	3	5 組	ひな祭り工作	季節	1	—
赤ちゃんタイム「足形アート」	体験	1	6 組	助産師さんの子育て孫育て講座	学習	4	14 組
パパ講座	体験	1	6 組	なんでも太鼓でリズム遊び	体験	1	6 組

②子育てに関する相談・援助事業

「保育士相談日」「にこにこサロン+ピラティス」(7月より「ピラティス+おしゃべりタイム」に変更
「保育・教育コンシェルジュ相談日」「子育てパートナー相談日」「子育て孫育て講座」「パパ講座」を親と子のつどいの広場事業(①)の中のプログラムとして実施。

③ 子育て関連情報の提供事業

子育て関連情報のチラシ・パンフレット・記事切り抜きファイルや書籍・ブックレットを親と子のつどいのひろば事業(①)のひろば内の情報コーナーに設置。

④ 子育てに関する学習機会の提供事業

事業名	親力アップ事業		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに役立つ講座の開催 ・親自身が持っている力の発揮(エンパワーメント)できるような参加型の学習の機会の提供。 		
	開催日	タイトル	参加数
	5月11日	保育士相談①「おむつはずれ」	6組
	6月28日	幼稚園選び	4組
	7月25日	子育て孫育て講座①「きょうだい育児」	4組
	8月24日	教育資金ミニセミナー	2組
	9月12日	ひろばで人気の手作りおもちゃ「ペットボトルウォーター作り」	5組
	9月25日	つばみザウルス	6組
	10月5日	赤ちゃんタイム「足形アート」	6組
	10月24日	子育て孫育て講座②「幼児期に伝える性のおはなし」	3組
	11月16日	ひろばで人気の手作りおもちゃ「ペットボトルウォーター作り」	6組
	11月23日	パパ講座	6組
	12月8日	大人向け工作「クリスマスツリーを閉じ込めよう」	6組
	12月13日	なんでも太鼓でリズム遊び	6組
	12月19日	クリスマスおはなし会	6組
	1月28日	子育て孫育て講座③「叱らない育児」	2組
	2月14日	教育資金ミニセミナー	3組
	2月17日	保育士相談②「保育園入園前スペシャル」	7組
	3月23日	防災タイム	5組
	3月27日	子育て孫育て講座④「断乳・卒乳のおはなし」	5組

⑤ 子育て支援に関する人材養成やネットワーク作り事業

事業名	子育て応援ネットワーク事業			
内 容	区内施設で出張おはなし会の実施。子育て支援グループや子育てサークルへの支援 ・中村地区センター出張おはなし会・・・9回　のべ40組参加 ・大岡地区センター出張おはなし会・・・5回　のべ24組参加			
	地域の催しや区民利用施設イベントなどに参加し、広報活動や他団体と交流。 ・3月開催「みなみ桜まつり」に「子育て応援ハウス」として参加。 ※雨天により中止			
	学生ボランティアの受入れ・インターンシップ受入れ			
	学校名	人数	活動数	活動内容
	蒔田中学校	2	2人×1日	ひろば清掃・見守り
	横浜市立大学	1	1人×2日	ひろば清掃・見守り
	明治学院大学	2	2人×1日	ひろば清掃・見守り
	青山学院 横浜英和高校	1	1人×4日	ひろば清掃・見守り
	合計	6	のべ9日	

外部ネットワークの活動や委員会への参加

「親と子のつどいの広場」 全体連絡会 (横浜市こども青年局主催)	横浜市内で開設されている 67カ所の「親と子のつどいの広場」運営者による連絡会。横浜市との連絡調整、意見交換や研修等。
「親と子のつどいの広場」 ブロック会	「親と子のつどいの広場」連絡会の方面別会合。(Bブロック：西・中・南・保土ヶ谷)。主に相互見学と情報交換。
「南区子育てもっとネット」 (福祉保健センター・南区地域子育て支援拠点主催)	南区内の子育て支援関係施設・団体のネットワーク。「南区子育てカレンダー」「まちのほっとスペーススタンプラリー」などに参加。
「みなともネット」 (南区子育て支援拠点・南区こども家庭支援課・南区常設の居場所6施設)	南区内常設の居場所6カ所と南区こども家庭支援課で、虐待防止月間に合わせて「オレンジリボンキャンペーン」の企画・準備。オンラインにて虐待の研修に参加。

⑥ 通信発行事業

事業名	「さくらザウルス通信」発行事業
内 容	子育て関連の催しや子育てに役立つ情報を掲載した通信を発行し、南区内の公共施設・駅、「赤ちゃん学級」会場、市内子育て支援施設などで配布。 (A4版6ページ・2,700部)

⑦ ホームページ事業

事業名	「さくらザウルスホームページ」運営事業
内 容	ホームページを定期的に内容更新し、子育て関連の催しや子育てに役立つ情報を発信。 携帯サイトでも、同様に発信。

⑧ 「一時預かり事業」

事業名	一時預かり事業
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろばの中で預かり専任のスタッフが利用者のお子さんを預かり、主に養育者のリフレッシュや通院などの際に利用できる一時預かりを提供。 ・一人一日4時間、ひろばの利用人数制限があるため一度に預かれる人数は1組だが、状況に応じて2組受け入れた時もあった。 ・専任スタッフは常駐配置し、いつでも利用説明、登録ができる体制をとっている。 ・ひろば内や区内施設にリーフレットを設置。 ・両親教室でのリーフレット配布や赤ちゃん学級に出向きPRした。ひろばを知ってもらいまず、ひろばを利用してもらえるようにひろばの紹介をした。 ・今年度は、利用者が激減したため、地域のサロンやお出かけ広場などにも出向きPRした。一時預かりに興味のある方が初めて来所するケースもあり、ひろば利用・一時預かり登録に繋がった。 ・9月「こんにちは赤ちゃん訪問員定例会」に参加。ひろばでの一時預かりについて説明し知ってもらうことで、赤ちゃん訪問の際にひろばを紹介してもらいひろば利用に繋がった。 ・12月こども青少年局主催の「令和4年度広場での一時預かり実施団体連絡会」に出席。ヒヤリハットの事例、事故防止の対応などについて、スタッフ間で確認。また提供された資料を会議で情報共有した。 ・睡眠チェック表は寝ている向きを矢印で記載するようにし、抱っこ時は抱っこと記入。うつぶせ寝はしないようにしている。 ・担当者名が分かるように利用カードの様式を変更した。合わせて預かり終了後の事務作業もれがないようにチェック欄を追加した。 ・当日キャンセル時には未収金で会計日誌に記入し、事前に領収書を作成しておくことにした。これにより入金時の対応がスムーズに行えるようになった。

- ・説明時、登録時、予約時、キャンセル時のマニュアルとスタッフ当日マニュアルを見直し、内容の確認をした。見直しをすることにより、基本を忘れないように再確認することができた。
- ・子育てサポートシステムからの紹介で、登録、利用につながったケースもあった。また、子育てサポートシステムと混同している方には丁寧に説明することを心掛けた。
- ・11月に一時預かり担当スタッフが1名退いた。スタッフの体調不良などで担当出来なくなることはなかった。冬場は体調不良による利用者のキャンセルが多かった。
- ・2014年に実施した「預かりお試し体験」の通信掲載記事を会議で確認した。まずは企画書を作成し、今後の利用者数の推移を見ながら検討することにした。合わせて、「一時預かり説明会」の実施についても検討することにした。
- ・「災害用伝言ダイヤル」のカードを紛失した方がいた。暗証番号設定があるので、見つからなければ新しく作成して全て取り替える。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録総数	53人	48人	45人	43人	44人	40人
新規登録数	5人	2人	6人	1人	3人	2人
利用数	7人	2人	3人	8人	4人	4人

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録総数	47人	51人	49人	52人	53人	51人	51人※
新規登録数	8人	7人	4人	3人	4人	3人	48人
利用数	2人	5人	4人	9人	9人	23人	80人

※3月末登録者数

2022(令和4)年度 親と子のつどいの広場事業 さくらザウルス六ツ川ひろば 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

事業の成果

4月1日から4月17日までは開館時間を10:00～15:45までにし、4月18日より開館時間を通常の10:00～16:00に戻した。引き続き、入館の際の手指の消毒・検温・手洗いはお願いしている。また、スタッフの検温・体調管理も行っている。ランチタイムは中止になっている。

年度初めには利用者の顔ぶれも変わってきたが、利用組数も増えてきて0歳児から1歳児の利用が目立った。また午前よりは、午後からの利用が多く感じられたが密になることはなく、利用をお断りすることはなかった。ほぼ毎日利用してくれる親子などリピーター利用が多いなか、10月はほぼ毎日初来所の方がおりその後の利用につながっている。閉館時間を16:00にしたことによって、15:00過ぎに遊びにくる親子も増えてきた。

定期プログラム「にこにこサロン」を7月よりピラティスの時間を長くした「ピラティス+おしゃべりタイム」にリニューアルした。また、助産師による「子育て孫育て講座」を年3回新たに実施した。その都度テーマを決めおはなしをしてもらった。また「ベビーピクス」、永田地区センター出張おはなし会などは毎月参加者が少ない。周知の仕方を検討していきたい。「教育資金ミニセミナー」が、講師の都合により今年度で終了した。

単発プログラムの「ちびっこえんにち」は子連れサブスタッフが企画。初の試みだったのでひろばスタッフがフォローし、準備の段階から多くのスタッフが携わり大成功に終わった。「防災タイム」に関しては、初めて単発でなく「防災週間」として開催し、より多くの利用者に参加してもらうことができた。また、人気の「園選び講座」は元利用者で現役の保育園ママを先輩ママと呼ぶことができた。サブスタッフによる初の連続講座「赤ちゃんに歌を届けよう」を実施。プロジェクターを使うなど今までにはない講座の内容になった。子連れサブスタッフによる「英語で楽しもう」は、スタッフの得意なことを活かした企画になった。11月開催の「感謝デー」は、1日のみの開催だった。例年野菜を仕入れている農園から仕入れができなかったため、ひろばスタッフの知り合いの農園から野菜を仕入れる事が出来た。地域の方からは「いつもの野菜と違うのね」などの声が聞かれ、「感謝デー」が定着してきていることが嬉しかった。これをきっかけに、ひろば利用につながっている。今年度は、新しいことへの挑戦が多かった。新しいスタッフによって同じプログラムでも全く違った内容になり、新鮮に感じる事が多い1年だった。

また「祝日開館」は6回実施した。利用者数は毎回それほど多くはないが、「行くところがあって良かったです」「パパと一緒に来ます」とうれしい言葉が聞けた。当日は、家族で遊びに来てくれる方もいて、いつもとは違うひろばになった。

今年度も常設の居場所合同で「オレンジリボンキャンペーン」を実施した。今回は、研修を含め何度か打ち合わせをする時間が持てたのがよかった。ひろばスタッフにも「オレンジリボン」が認知されてきように感じた。他のつどいの広場のスタッフと一緒にしかかわることができていい機会になった。

大学生のインターン生の受入れが3名だった。今年は特に活動の制限がなくでき、限られた活動時間の中で法人の施設(4カ所)での活動を行うことが出来た。また、近隣の中学校(1校)の「職場体験」が復活し受け入れを行った。

ひろばでの一時預かりは8年半が経過した。登録者数は少しづつだが増えてきている。今年度の終わり(1月～3月)に入ってから利用件数がとても多かった。リピーターの方が多く、信頼されていると感じる事が出来た。

① 親子の交流・集いの場の提供事業

事業名	親と子のつどいの広場「六ツ川ひろば」事業						
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日の 10 時から 16 時 00 分(但し、祝日・特別休館日を除く)開館。 ・施設は、横浜市南区六ツ川 1-287-7 ザ・ブランスヒル南横浜一番館 101 を借り上げて整備。 ・乳幼児とその親(養育者)が集い交流し、自由に過ごせる場の提供。 ・2人以上のスタッフが常駐し、日常的な子育て相談や遊びの見守りを行った。 ・ひろば内やおもちゃの消毒、1 時間ごとに 5 分程度の換気を行った。 						
	月	4	5	6	7	8	9
	開所日数	19	17	20	18	18	18
	利用人数	245	253	383	333	336	350
	平均人数	12.9	14.9	19.2	18.5	18.7	18.4
	利用組数	119	121	182	156	154	162
	平均組数	6.3	7.1	9.1	8.7	8.6	8.5
	月	10	11	12	1	2	3
	開所日数	18	19	16	16	18	21
	利用人数	372	423	296	382	404	510
	平均人数	20.7	22.3	18.5	23.9	22.4	24.3
	利用組数	174	205	144	176	178	233
	平均組数	9.7	10.8	9	11	9.9	11.1
合計 219 4,287 19.6 2,004 9.2							
	・ひろば内でプログラムを実施 《プログラム実績》						
	プログラム名		回数	参加数	プログラム名		回数
	参加数				回数		参加数
	ベビーピクス	学習	9	27 組	防災週間	学習	1
	にこにこサロン+	相談	2	4 組	子育て孫育て講座	学習	3
	ピラティス						7 組
	ピラティス+	相談	8	26 組	こいのぼりガーランド	季節	1
	おしゃべりタイム						3 組
	おはなし会	体験	11	62 組	七夕	季節	1
	おもちゃ病院	援助	11	19 件	クリスマス	季節	1
	わんぱくタイム	体験	2	6 組	節分(顔出しパネル)	季節	1
	教育資金セミナー	学習	2	6 組	しめなわ飾り	季節	1
	赤ちゃんタイム	交流	24	104 組	感謝デー	交流	各 1
	保育士相談日	相談	2	9 組	祝日開館	交流	6
	保育・教育コンシェルジュ相談日	相談	4	14 組	ちびっこえんにち	交流	1
	子育てパートナー相談日	相談	3	13 組	赤ちゃんに歌を届けよう	交流	1
	初めての園選び	学習	1	5 組	英語で楽しもう	交流	1
	ペットボトルウォーター	交流	2	12 組	紙皿シアター	学習	1
							1 組

② 子育てに関する相談・援助事業

「保育士相談日」「にこにこサロン+ピラティス」「ピラティス+おしゃべりタイム」「子育て孫育て講座」「保育・教育コンシェルジュ相談日」「子育てパートナー相談日」を親と子のつどいの広場事業(①)の中のプログラムとして実施。

③ 子育て関連情報の提供事業

子育て関連情報のチラシ・パンフレット・記事切り抜きファイルや書籍・ブックレットを親と子のつどいのひろば事業(①)のひろば内の情報コーナーに設置。

④ 子育てに関する学習機会の提供事業

事業名	親力アップ事業		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに役立つ講座の開催 ・親自身が持っている力の発揮(エンパワーメント)できるような参加型の学習の機会の提供。 		
	日にち	タイトル	参加数
	4月18日～ 4月22日	季節を楽しむママ向け講座 「こいのぼりガーランド」	3組
	5月30日	六ツ川ひろば新企画 「紙皿シアター制作&実演講座」	1組
	7月20日	教育資金ミニセミナー	4組
	11月24日		2組
	8月18日	ペットボトルウォーター講座	5組
	8月24日	親子で作ろう夏の思い出 「ちびっこえんにち」	20組
	8月26日	子育て孫育て講座① 「しからない育児」	1組
	8月29日～ 9月2日	「防災週間」	15組
	8月30日	保育士相談① 「おむつはずれ」	3組
	9月13日	「聞いて学ぼう 園選び」	5組
	11月29日	子育て孫育て講座② 「卒乳断乳のおはなし」	3組
	12月19日	「しめなわ飾りを作ろう！」	6組
	2月24日	保育士相談② 「保育園ってどんなところ？」	6組
	2月23日	子育て孫育て講座③ 「きょうだいの子育て」	3組
	3月3日	ペットボトルウォーター講座	7組

⑤ 子育て支援に関する人材養成やネットワーク作り事業

事業名	子育て応援ネットワーク事業		
内 容	区内施設で出張おはなし会の実施。子育て支援グループや子育てサークルへの支援 ＊永田地区センター出張おはなし会・・・9回 のべ26組参加 ＊その他単発の出張おはなし会 ・永田地域ケアプラザ出張おはなし会 →「新型コロナウイルス」の影響で中止		
	地域の催しや区民利用施設イベントなどに参加し、広報活動や他団体と交流。 ＊みなみ桜まつり・・・雨天のため中止		
	学生ボランティアの受入れ 学生ボランティアの受入れ		
	学校名	人数	活動数
	六ツ川中学校	1	1人×2日
	合計	1	2日
	インターンシップ、受け入れ		
	学校名	人数	活動数
	横浜市立大学	1	1人×10日
	明治学院大学	2	2人×10日
	合計	3	のべ30日間
	活動内容		

外部ネットワークの活動や委員会への参加

「親と子のつどいの広場」 全体連絡会 (横浜市こども青年局主催)	横浜市内で開設されている70カ所の「親と子のつどいの広場」運営者による連絡会。横浜市との連絡調整、意見交換や研修等。
「親と子のつどいの広場」 ブロック会	「親と子のつどいの広場」連絡会の方面別会合。(Bブロック：西・中・南・保土ヶ谷)。主に情報交換。
「南区子育てもっとネット」 (福祉保健センター・南区地域子育て支援拠点主催)	南区内の子育て支援関係施設・団体のネットワーク。「南区子育てカレンダー」「まちのほっとスペーススタンプラリー」
「オレンジリボンキャンペーン」 (南区こども家庭支援課)	南区内の常設の居場所6カ所合同で、虐待防止月間に合わせて「オレンジリボンキャンペーン」の企画・準備

⑥ 通信発行事業

事業名	「さくらザウルス通信」発行事業
内 容	子育て関連の催しや子育てに役立つ情報を掲載した通信を発行し、南区内の公共施設・駅、「赤ちゃん学級」会場、市内子育て支援施設などで配布。 (A4版6ページ・2,700部)

⑦ ホームページ事業

事業名	「さくらザウルスホームページ」運営事業
内 容	ホームページを定期的に内容更新し、子育て関連の催しや子育てに役立つ情報を発信。携帯サイトでも、同様に発信。

⑧ 「一時預かり事業」

事業名	一時預かり事業						
内 容	<ul style="list-style-type: none">・ひろばの中で預かり専任スタッフが利用者のお子さんを預かり、養育者のニーズに合わせて利用できる一時預かりを提供。・1人一日4時間以内、一度に3人まで受け入れる。・事務担当スタッフと預かり専任スタッフがいつでも利用説明、登録ができる体制をとっている。・ひろば内や区内施設にリーフレットを設置。・赤ちゃん学級、おでかけひろば、こにちは赤ちゃん訪問員定例会へ出向きPRをした。また、こそだてホッとタイム、すくすくひよっこなど近隣のサロンにも出向いた。まずはひろばを知ってもらい、一時預かりを利用してもらえるよう紹介した。・「一時預かり実施広場情報交換会」に出席、事故防止と事故対応についての情報提供を受けた。グループワークでは、ひろばでのヒヤリハットについて、また様々な声のかけ方について他のひろばと情報を交換した。その後ひろばに報告し、預かりスタッフ間で共有した。・預かりスタッフで丁寧に話し合いを重ねてきた『傷病者緊急対応マニュアル(一時預かり編)』が完成した。今後はさらにマニュアルに沿って定期的に動きを確認していく。・隔月で行っているひろばの避難訓練に預かり中のお子さんと参加し、いざという時の行動を確認した。・預かり後に行う事務作業にもれがないようチェック表を作成し、使用した。・緊急伝言ダイヤルカード 171 には暗証番号が記載されているため、取り扱いには注意が必要であることをスタッフ間で再度共有した。・大雪注意報が発令しひろばが途中で閉館になった日があった。あらかじめ前日に預かりが予定通りできなくなるかもしれないことをママにお伝えし、当日はスムーズに対応できた。・ママと離れて激しく泣いてしまい、4時間水分も取れないお子さんの預かりが定期的にあった。初めて水分を口にしたり、スタッフと遊べたときはひろば全体で成長を喜んだ。・月により予約件数にばらつきがあったが、予約が3件4件と集中した時はスタッフ間で調整を行いできる限りの対応をすることができた。・蒔田ひろばとはPRや研修などに一緒に参加した際に情報交換をしたり、毎月のひろばごとの議事録で情報を共有した。・あらたに一時預かりスタッフを迎え「子育て支援員研修・地域保育コース」を受けて修了した。シフトに入って活躍している。						
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	登録総数	57人	52人	54人	55人	52人	55人
	新規登録数	4人	4人	5人	2人	4人	4人
	利用数	9人	5人	17人	13人	9人	20人

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録総数	56人	51人	49人	46人	52人	51人	51人※
新規登録数	0人	3人	4人	8人	5人	10人	53人
利用数	12人	18人	18人	24人	29人	27人	201人

※3月末登録者数

2022(令和4)年度 子育てひろば事業

さくらザウルス別所ひろば 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

事業の成果

新たに1人のスタッフを迎え3年目がスタートした。消毒のため閉館時間を15時45分にしていたが、5月30日以降10時～16時で1日を通して開所した。利用組数は16組前後とし、利用定員に達してお断りすることも月1～4回あったが、ひろばでの滞在時間が短い方が多く、ご自身のタイミングで使われている様子が見えた。

春は保育所・幼稚園の入園で顔ぶれが変わり、利用人数が日によって大きく差があった。0歳から利用されているお子さんの身長がぐっと伸びたり、お子さん同士のやりとりができるようになったりして成長を感じた。引っ越しなどで初回利用された方が割とすぐになじんでいた。5月には半年ぶりにベビーピクスを再開、利用者さんのプログラムに参加したい意欲が強くなっているように感じた。6月には3月に実施予定だったカスミママズのアンサンブルコンサートを実施、キャンセル待ちが出て盛況だった。

夏は公園が暑すぎるため、大きめのお子さんの利用が多く見られた。区外の方の利用も増え、他施設で紹介されて来所するケースが増えた。水遊びを楽しみにされている方も多く、予約もすぐに埋まった。密を避けるため新たに水遊び用の大型のおもちゃを購入し、ゆったりと遊ぶことができた。

今夏は数年ぶりに帰省した話を聞く一方で、家族全員がコロナに感染した話も多く聞いた。以前のように感染を隠すことが少なく、スタッフに気軽に話してくれるように感じた。

10月以降、月の利用人数が1000人前後で推移し、にぎわっている日が多かった。友人同士誘い合っただけで来所する方もいて、昨年度より利用者間のコミュニケーションが増えていると感じた。また、きょうだい児が生まれ月齢の低いお子さんの利用も増えた。ベッドに寝かせた際には呼吸のチェックを心掛けた。

預かり保育「ふろんていあ」は、普段ひろばを利用しているお子さんに加え、拠点からの紹介や友人同士の誘い合わせも多く、過去最大の登録者数22人となった。今年度の参加者は飽きやすく、集中して遊びこむことが難しい傾向があり、試行錯誤しながら都度保育内容を考えていった。局主催の保育の研修は、ほぼZoomで実施されたため、参加しやすく、多くのスタッフが複数回参加することができ、学びを持ち帰ることができた。

ひろば内でお子さんを預かる「ひろば de あずかり」は、上半期は予約がなく中止となった回もあったが、下半期はほぼ定員で埋まり、キャンセル待ちも出ていた。毎週行っているので利用者に周知してもらえ、預かり中のお子さんの様子を見て登録・利用する方もいて、ひろばでの預かりの良さを感じた。保育メンバーも昨年度に引き続き担当してくれているので、ひろばスタッフも利用者もより親しむことができた。

スタッフ非常勤9人体制でシフトを回しているが、今年度もなんとか閉館措置をとることなく済み、シフトもチームワークで乗り越えることができた。

① 親子の交流・集いの場の提供事業

事業名	子育てひろば「別所ひろば」事業						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日の10時～16時（4/1～5/29は10時～15時45分。ただし、祝日・特別休館日を除く）開館。 ・乳幼児とその親（養育者）が集い交流し、自由に過ごせる場の提供。 ・3人以上のスタッフが常駐し、日常的な子育て相談や遊びの見守りを行った。 						
	《利用実績》						
	月	4	5	6	7	8	9
	開所日数	19	18	20	18	18	18
	利用人数	799	672	899	828	748	842

平均人数	42.1	37.3	45.0	46.0	41.6	46.8	
利用組数	377	319	438	403	351	401	
平均組数	19.8	17.7	21.9	22.4	19.5	22.3	
月	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	18	18	17	17	17	20	218
利用人数	1069	944	928	977	972	1169	10,847
平均人数	59.4	52.4	54.6	57.5	57.2	58.5	49.8
利用組数	509	453	435	464	461	545	5156
平均組数	28.3	25.2	25.6	27.3	27.1	27.3	23.7
・ひろば内でプログラムを実施 《プログラム実績》							
プログラム名		回数	参加数	プログラム名		回数	参加数
赤ちゃんタイム	交流	24	393 組	キッズタイム	体験	12	190 組
おはなし会	体験	9	129 組	おもちゃ病院	援助	9	約 30 件
お誕生を祝う日	体験	12	約 100 組	子育てパートナー相談	相談	1	6 組
保育・教育コンシェルジュ相談日	相談	3	19 組	水遊び	体験	8	37 組
ペットボトルウォーター講座	体験	4	32 組	離乳食講座	体験	1	8 組
幼稚園選び座談会	相談	1	8 組	助産師さんと話そう	相談	1	3 組
ベビーピクス	体験	6	42 組	カスミママアソシエイトサポート	体験	2	33 組
つくりものタイム	体験	1	10 組				

② 子育てに関する相談・援助事業コンサート

「保育・教育コンシェルジュ相談日」「子育てパートナー相談日」を子育てひろば事業(①)の中のプログラムとして実施。助産師が来所する訪問日を月1回実施している。

③ 子育て関連情報の提供事業

子育て関連情報のチラシ・パンフレット・記事切り抜きファイルや書籍・ブックレットを子育てひろば事業(①)内の情報コーナーに設置。

④ 子育てに関する学習機会の提供事業

事業名	親力アップ事業		
内 容	・子育てに役立つ講座の開催 ・親自身が持っている力の発揮(エンパワーメント)できるような参加型の学習の機会の提供。		
	開催日	タイトル	参加数
	5月26日	幼稚園選び座談会	8 組
	6月10日	ペットボトルウォーター講座 午前開催	8 組

6月14日	カスミママズ アンサンブルコンサート（3月分）	15組
6月30日	ペットボトルウォーター講座 午後開催	8組
9月27日～ 10月7日	防災ラリー	約80組
10月14日	ペットボトルウォーター講座 午前開催	8組
10月27日	ペットボトルウォーター講座 午後開催	8組
11月25日	離乳食講座	8組
12月9日	クリスマスおはなし会	15組
2月14日	つくりものタイム	10組
3月28日	カスミママズ アンサンブルコンサート	18組

⑤ 子育て支援に関する人材養成やネットワーク作り事業

事業名	子育て応援ネットワーク事業			
	ボランティアの受入れ			
	学校名	人数	活動数	活動内容
	インターン大学生	3	7日	ひろば見守り、消毒、清掃
	合計	3	7日	

外部ネットワークの活動や委員会への参加

「南区子育てもっとネット」 （福祉保健センター・南区地域子育て支援拠点主催）	南区内の子育て支援関係施設・団体のネットワーク。「南区子育てカレンダー」「まちのほっとスペーススタンプラリー」
「オレンジリボンキャンペーン」（南区こども家庭支援課）	南区内の常設の居場所6か所合同で、虐待防止月間に合わせて「オレンジリボンキャンペーン」の企画・準備

⑥ 通信発行事業

事業名	「別所ひろばのご案内」発行事業
内 容	ひろばのスケジュールやプログラムなどを掲載した広報紙を発行し、南区内の公共施設・駅、「赤ちゃん学級」会場、市内子育て支援施設などで配布。 （A4版2ページ・2500部）

⑦ ホームページ事業

事業名	「さくらザウルスホームページ」運営事業
内 容	ホームページを定期的に内容更新し、子育て関連の催しや子育てに役立つ情報を発信。携帯サイトでも、同様に発信。

⑧「預かり保育事業」

事業名	預かり保育事業「ふろんていあ」													
内容	<ul style="list-style-type: none">・プレイルーム2を使用し、未就学児（おおむね3歳児）を対象に、グループ保育を行う。・ニーズに応じて預かり後の時間帯で、延長保育を行う。・開催日時は第1・3火曜、第3金曜日、10～12時。1時間まで延長も可能。・定員8人、スタッフは参加人数によって最大4人で対応。・申込が1人の場合は、ひろば内での1対1の預かりで対応。・預かり保育に係るスタッフを常駐配置し、いつでも利用説明ができる体制をとっている。・有資格者は4人。実施時は2人以上を配置している。・認可外保育施設として届け出ること、保険料の補助や新型コロナウイルス感染拡大防止のための助成金などの支援を受けることができた。また、市主催の保育研修にも参加した。													
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実施回数 (回)	2	3	3	2	3	3	2	3	2	3	3	2	31
	参加人数 (人)	8	9	11	12	15	12	9	11	7	8	10	6	118

⑨「ひろば預かり事業」

事業名	ひろば預かり事業「ひろば de あずかり」													
内容	<ul style="list-style-type: none">・水曜の10時～12時の時間帯で、ひろば内で保育を行う。・保育担当は、保育ボランティア「ぐるんぱ」に依頼、2人派遣してもらう。・定員は最大4人、利用するお子さんの年齢によって保育可能な人数が変わる。・スタッフ全員が利用説明できる体制をとっている。・利用は登録制。登録料500円は2024年2月末まで有効。・予約は毎月1日に翌月分の予約開始、空きがあれば前日でも予約可能。・1人が2回分の予約を取ることができる。・今年度新規登録者49人、2023年3月末登録数88人・申込みがなく、6/1、6/22、7/20、8/10の4回中止になった。													
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実施回数 (回)	4	2	3	2	3	3	3	3	3	3	4	4	37
	参加人数 (人)	11	5	9	4	6	8	9	8	8	9	12	12	101

2022〈令和4〉年度 南区地域子育て支援拠点事業 報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

(1) 全体振り返り

拠点運営が三期目に入り、これまでの積み重ねを基にしながらも、子育て家庭が置かれている状況の変化・多様化に留意しながら事業を進めた一年でした。

新型コロナウイルスは感染再拡大を繰り返し、その度に利用人数は上下したものの、全体的には入館制限をかける日も多く、特に新規の利用が目立ちました。また、外国出身の養育者の利用も少しずつ戻ってきた印象です。プログラムはおおむね順調に実施でき、比較的新しい「パパ限定！日曜はぐはぐ」や「0歳児はじめましての会」が特に好評で、プログラム参加から普段の利用につながりました。また「はぐミーティング」では話し合いから生まれたアイデアを参加者と協力して実現し、プログラム開催や保育園選定の情報収集などに利用者が参画する機会になりました。

長年の念願であった「南区の幼稚園・認定こども園一覧」を、南区幼稚園協会のご理解のもと、各園にご協力いただいて発行しました。今後は情報事業の柱の一つとして、毎年内容を更新していきます。

横浜子育てサポートシステムでは入会説明や援助依頼の件数が大幅に増加するとともに、ひとり親家庭等を対象とした助成事業がスタート、さらに年が明けてからはシステムのあり方に大きな変化をもたらす新規事業の発表が一方的になされるなど課題山積の状態ですが、コーディネーターはじめスタッフが力を合わせて向き合っています。

ここ数年、様々な意味でコロナ禍の影響が大きかったネットワーク事業では2つの大きなトピックがありました。ひとつは「まちのほっとスペーススタンプラリー2022」を3年ぶりに復活させて、再開した地域サロンなどの後押しができたこと。もうひとつは区内6か所の常設の居場所による「みなともネットワーク」がスタートし、スタッフ合同研修やオレンジリボンキャンペーン・児童虐待防止パネル展に協力して取り組んで、スタッフ同士の交流や情報交換が図れたことです。地域ぐるみで子育てを支える環境づくりを、また一歩進めることができたと感じています。

(2) 拠点運営の概要

【実施施設】南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹

①交流スペース (弘明寺町 158 カルムⅠ 2階)

「親子の居場所」「子育て相談室」「地域子育て情報コーナー」

②サポートルーム (通町 4-115 アイルイン弘明寺 2階)

「支援者研修室」「事務室」「横浜子育てサポートシステム南区支部」

【開館曜日】火曜～土曜 (但し、月曜日が祝休日の翌日は休館)

【開館時間】9時～17時 (但し、交流スペース利用は9時30分～16時)

【スタッフ数】

常勤	5名	非常勤	15名	合計	20名
----	----	-----	-----	----	-----

【スタッフ配置】（1日の基本配置）

施設長	1名	常勤	-
居場所スタッフ	4名	うち常勤1名	「おでかけ広場」開催時間帯は1名増員して1名出張
事務スタッフ	2名	うち常勤1名	時間帯により居場所スタッフをフォロー
横浜子育てサポートシステムコーディネーター	3名	うち常勤1名	「おでかけ広場」開催時間帯は1名出張 時間帯により居場所スタッフをフォロー
横浜子育てパートナー	1名	常勤	-
合 計	11名		プログラム等の実施に応じて追加して配置

（3）親子の居場所機能

①交流スペース利用実績

月	開館 日数	乳幼児とその保護者		支援関 係者他	月	開館 日数	乳幼児とその保護者		支援関 係者他
		利用人数	平均利用人数				利用人数	平均利用人数	
4	21	1488	71	210	10	20	1791	90	247
5	18	1344	75	174	11	20	1763	88	185
6	22	1862	74	139	12	20	1499	75	141
7	21	1730	82	165	1	19	1701	90	137
8	21	1486	71	194	2	18	1748	97	153
9	20	1792	90	214	3	22	2021	92	230
					計	242	20225	84	2189

* 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として同時利用を18組に制限。

②定例プログラム

プログラム名	実施回数	実績数
おもちゃ病院	44	147件の修理に対応
プレママ会	9	46人
保育・教育コンシェルジュ相談	12	58組
0歳児はじめましての会	12	118組

③季節行事・単発プログラム

プログラム名	実施日	参加者数
こどもの日を楽しもう！	4月19日～5月13日	（期間中自由参加）
七夕	6月17日～7月7日	（期間中自由参加）
クリスマスを楽しもう	12月3日～12月24日	（期間中自由参加）
お正月遊びをしてみよう！	1月4日～14日	（期間中自由参加）

みんなで作ろう！ひなまつり	2月14日～3月3日	(期間中自由参加)
しゃべリング双子・三つ子育て	4月5日、7月2日、8月27日 10月1日、1月7日、2月25日	17組
オンライン幼稚園説明会	7月28日	14組
オンライン保育園説明会	7月28日	12組
再就職応援セミナー	8月10日	6組
アラフォーママ会	8月20日、10月22日	10組
外国人ママ・パパのための・・・	5月25日、9月28日、1月18日	10組
シングルママの会	10月15日、3月18日	14組
おさんぼはぐはぐプレイパーク DE あそぼう	6月2日、8月1日、10月25日 2月2日	46組
パパ限定！日曜はぐはぐ	4月3日、8月3日、10月2日 12月4日、2月5日	84組
はぐミーティング	9月15日、2月1日	9組
オカリナコンサート	10月26日	22組
打楽器コンサート	12月7日	34組
ママ・パパの健康チェック会	10月21日	15組
クリスマスリースを作ろう	12月14日	5組

④おでかけ広場

会 場	年間回数	参加のべ人数	歯科相談
大岡地区センター レクホール	24	1025	4月15日、1月20日
永田地区センター 体育室	22	205	10月13日、2月9日
中村地区センター 体育室	23	434	6月10日、1月13日
南センター 体育室	18	366	5月18日、3月15日
六ツ川スポーツ会館	21	309	5月25日、11月9日

⑤はぐはぐの樹子ども図書館

取り組み名称	実施数	実績数
みんなおいでよ おはなし会	24回	のべ256人が参加
絵本相談	114回	406件に対応
絵本貸出	1971件	のべ5713冊貸し出し
読書週間アンケート及び掲示	1回	「私のおすすめ本」をスタッフと絵本サポーターが書いてコメントと共に掲示

* 子ども図書館に関する取り組み（上記以外に、蔵書管理、貸出状況把握と返却確認、購入図書の選書と発注、破損本の修理、市立図書館の団体貸出手続き等）は専任の絵本アドバイザーに業務委託。

⑥ニーズ把握

- * 「利用者の声ボックス」に寄せられた意見は2件。提案・意見についてスタッフ定例会で話し合い、その結果の要点を「はぐはぐの樹だより」に掲載した。
- * 利用者アンケートを実施（11月8日～12月14日）し、交流スペース200件、おでかけ広場50件を回収。集計結果に考察を加えて報告書を作成。ホームページに掲載するとともに、事業の年間振り返りや次年度計画立案の参考とした。

（4）子育て相談機能

①相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
フロア相談	327	225	348	244	320	342	
個別相談	4	0	0	5	3	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
フロア相談	264	280	293	307	329	354	3633件
個別相談	0	0	0	2	0	3	7件

②プログラム

プログラム名	実施日	参加者数	講師
助産師相談日	4月26日、5月24日、6月28日 7月26日、8月23日、9月27日 10月25日、11月22日、12月27日 1月24日、2月28日、3月28日	46組	助産師 渡邊ケイ子さん
保育士さんに聞いてみよう	5月19日（オンライン）、7月7日（対面） 10月6日（対面）、1月19日（対面）	19組	保育士 三好みつえさん
おしゃべりサロン 発達・療育	4月20日、5月21日、7月8日 8月24日、9月29日、11月16日 1月21日、3月3日	18組	障がい児者の 将来を考える会 泉の会の みなさん
おしゃべりサロン ダウン症児育て	6月18日、10月29日、2月18日	8組	

（5）子育て情報収集・提供機能

①情報コーナー

- * 区内から送られてきた情報を5つのカテゴリー（あそび、仕事・講座、預ける、相談、その他）に分けて配架した。
- * 南区こども家庭支援課関連事業のチラシはまとめて別の壁掛けのファイルに配架した。
- * 南区と近隣区の保育所情報をファイルにまとめて配架した。

- * 区や地域の方から子育てサロンのチラシを提供してもらい、壁掛けのファイルにまとめた。

②ホームページ・インスタグラム

- * 「はぐはぐの樹カレンダー」は、毎月 20 日頃に翌月分のプログラムを更新した。
- * ホームページ内の「南区子育てカレンダー」は、南区子育てもっとネット参加団体に入力や更新を依頼した。申し出に応じて入力の代行や問い合わせに対応した。
- * インスタグラムは、はぐはぐの樹の普段の様子やプログラムの予約日、絵本サポーターのおすすめ絵本、はぐはぐ^{グラマー}作成の画像、保育園や地区センターからのお知らせなど 164 回投稿を行った。
(3 月 31 日現在、累計 534 投稿)

③はぐはぐの樹だより

- * 毎月約 2700 部を発行。区内の公共施設・駅・地域の子育てサロン・おでかけ広場他、市内の子育て支援関連施設に配布した。
- * 居場所事業を中心に、ネットワークや横浜子育てサポートシステム、フードパントリーイベントの記事などを掲載した。

④情報発信掲示板

- * 今年度もあそびひろばの窓に幼稚園・認定こども園と保育園のロコミを集める掲示をし、利用者から募ったところ多数の情報が寄せられた。後にファイルにまとめて配架し、好評を得た。

⑤その他

- * かねてよりニーズの高かった幼稚園・認定こども園一覧を南区幼稚園協会の協力のもと作成し、好評を得た。

(6) 子育て支援ネットワーク機能

①南区子育てもっとネット

取り組み名称	実施日	参加数等	
南区子育てもっとネット 会議	7 月 11 日	42 団体・施設、49 名参加 (地域ケアプラザ 5 か所と区役所を サブ会場にしたハイブリット開催)	会議記録・ 参加者ア ンケート を送付
	2 月 28 日	37 団体・施設、42 名参加 (地域ケアプラザ 4 か所と区役所を サブ会場にしたハイブリット開催)	
南区まちのほっとスパー ススタンプラリー2022	10 月 1 日～ 11 月 30 日 (景品交換 10 月 15 日～12 月 7 日)	スタンプポイント 86 か所 景品交換場所 19 か所 乳幼児と養育者へのスタンプ帳配布数 1545 組 景品交換数 242 個	

南区子育てカレンダー運用	5月	入力マニュアルと代行入力依頼書様式を 65 施設・団体に送付
--------------	----	--------------------------------

②みなともネットワーク

取り組み名称	実施日	内容・参加数等
みなともネットワークミーティング	5月31日、7月5日 8月26日、1月18日	拠点を含む、南区内6カ所の常設の親子の居場所のネットワークを発足
スタッフ合同研修会	9月26日	『児童虐待の気づきと対応』52名参加
オレンジリボン児童虐待防止パネル展	11月15日～25日 (子育てメッセージ募集10月1日～、応援メッセージ募集9月15日～)	南区役所1階ギャラリーにて 各施設で利用者から集めた子育てメッセージと、主任児童委員や地域の支援者・居場所スタッフから集めた応援メッセージをウォールアートに仕立てて展示 パネル展終了後は各施設で展示

③地域行事

行事名称	日時・内容等
サンタプロジェクト	12月23・24日、南区サンタプロジェクト実行委員会が協賛企業からの寄付で購入した作業所製品と「南区ほのぼのグッズ紹介のフォトブック」をセットしたプレゼント100個を利用者親子に配布
ニコニコウォークイベント 「文字あつめキーワードラリー」	本大岡地区社会福祉協議会主催のイベントで、参加シート配布、広報周知、キーワード設置、参加者プレゼント引換え(42件)の協力

④他施設・団体との連携・協力

事業名 (連携・協力先)	内容
永田DEはぐくむわくわく教室 (永田地域ケアプラザ)	11月11日・18日、12月2日・9日・16日、地域での仲間づくりを目的とした連続講座(親子骨盤体操、外遊び、リース作り、エコおもちゃ作り、ブラスバンドコンサート) 永田エリアの乳幼児親子13組が参加 1月13日、2月24日、3月10日「同窓会」を開催
子育て世代禁煙支援モデル事業 (健康福祉局)	保護者の禁煙に対する動機付けと子どもの受動喫煙防止を目的とした啓発媒体「クイズパネル」の作成・周知協力

⑤その他

会議等名称	出席回数
南区子どもの居場所づくりネットワーク 定例会	7回

南区子どもの居場所づくりネットワーク 見学会・活動団体交流会・パネル展協力等	5 回
まるごとみなみ施設交流会	1 回
南区サンプラザプロジェクト実行委員会	1 回

(7) 子育て支援人材育成機能

①子育て支援関連講座

講座名	実施日	実績数等
「子育て支援者向けジェンダー講座 ～性別にとらわれず子どもの個性と向き合う～」	9 月 8 日	オンライン開催 35 名参加
「対面でも相手が安心して思いが話せる聴き方話し方」	2 月 22 日	オンライン開催 25 名参加

②学生等受け入れ

取り組み名称	実施日・実績数
横浜国大付属横浜中学校 3 年生交流会	10 月 21 日、11 月 4・18 日、大岡おでかけ広場で交流会を実施。(3 クラス)
実習生・ボランティア・職業体験等受入	関東学院大学看護学部実習生 4 年生 1 名 (2 日間)、1 年生 2 名 (各 3 日間) 3 年生 10 名 (各 2 日間)・10 名 (各 1 日間) 横浜市病院協会看護専門学校 6 名 (各 1 日間) 南区役所助産師実習生 2 名 (1 日間) 県立保健福祉大学実習生 2 名 (1 日間) 横浜総合高校インターンシップ 2 名 (5 日間) アクションポート横浜インターンシップ 3 名 (各 2 日間) ボランティア活動希望者 1 名 (3 日間) 六ツ川中学校職業体験生 2 名 (2 日間) 共進中学校職業体験生 2 名 (1 日間)
職業講話	10 月 5 日 横浜国大横浜中学校 2 回 2 月 1 日 南が丘中学校 1 回
横浜総合高校とのコラボレーション	高校のキャリア教育に協力して、「子どもの運動不足解消のために、親子でふれあいながらできる、はぐはぐの樹体操の考案」を学生に依頼 高校生が提案するための訪問取材・ヒアリングに対応 プレゼンテーションとなるポスターセッションに参加 4 チームから提案があり、1 チームから採用した。

③子育てサークル支援

取り組み名称	実施日・実績数
「南区子育てサークル名簿」	7 月 16 日 86 冊発行 (6 サークル掲載)

作成・配付	区役所、親と子のつどいの広場、ママと子のホッとタイム会場、地域ケアプラザ、地域子育てサロン等に配付した。
大型おもちゃ・シアター類の貸出し	2 件 (2 点)
新規メンバー募集支援	情報コーナーへの掲示 おでかけ広場でのチラシ配布
サークル支援	サークルの運営に関する相談 7 件

④その他

取り組み名称	実施日・実績数等
支援者向けの情報誌「にこで」発行	6 月・9 月・12 月・3 月の 4 回、各約 700 部を発行。 もっとネット会議・講演会・講座・研修会の周知・報告、地域の支援活動の紹介、はぐはぐの樹の事業周知等を掲載。 もっとネット参加施設・団体のスタッフ、子育てサポートシステム提供・両方会員などに配付。
おでかけ広場ボランティア	おでかけ広場 5 会場の開催をサポートするボランティアに 9 名登録。 スタッフと共に、会場の設営、利用者親子の見守り、片づけ、清掃を行った。
絵本サポーター	ミーティングを 4・5・6・10・11・1・3 月に開催し、のべ 22 名が参加。 おすすめ絵本コーナーのメンテナンス、「絵本サポーターのオススメ絵本」をインスタグラム投稿、「えほんのはなし」No.4～6 発行等を行った。
作り物サポーター	拠点事業で必要な物（おもちゃ、季節行事の飾り等）を手作りするボランティアに 8 名登録。4・6・7・9・10・12・2・3 月の第 1 木曜日に活動し、のべ 31 名が参加した。
はぐはぐ ^{グラマー} grammer	ミーティングを 4・5・6・10・11・12・1・2・3 月に開催し、のべ 37 名が参加。はぐはぐの樹の魅力を公式インスタグラムで発信する活動を行った。
感謝のメッセージ	3 月、感謝状と利用者からのメッセージをカードにまとめたものを、おでかけ広場ボランティアと作り物サポーターにお渡しした。

(8) 横浜子育てサポートシステム南区支部事務局

①入会説明

	実施回数	利用会員	提供会員	両方会員	実施場所
入会説明会	13	43	3	0	第 2 土／交流スペース 9 月 提供・両方会員向け/サポートルーム
個別説明	93	82	10	1	主に交流スペース、サポートルーム、利用会員希望宅
出張説明	34	52	8	1	第 3 火／さくらザウルス蒔田ひろば 第 4 木／さくらザウルス六ツ川ひろば 偶数月第 1 金／さくらザウルス別所ひろば他

②コーディネート

【依頼件数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
依頼 件数	14	12	17	9	10	17	11	19	18	15	17	16	175

【事前打合せ同席数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
同席 数	7	12	8	9	6	7	9	14	13	4	7	12	110

③会員交流会

- * 12月5日「ヒンメリでお部屋をかざろう」 ストローを使ったヒンメリ（フィンランドの伝統的な装飾）をグループに分かれて製作した後、歓談タイム。会員11名（提供会員7名、利用会員4名）参加。保育グループ「ぐるんぱ」の保育付き企画とした。
- * 4月～12月に「初めての子サポ体験」を26組実施。提供会員17名、両方会員2名が援助活動を行った。

④提供・両方会員研修会

- * 7月11日「AEDと心肺蘇生法講習」をはぐはぐの樹交流スペースで開催。講師は横浜市南消防署大岡消防出張所消防指令、南消防署消防士の2名。提供会員7名、スタッフ6名 計13名の参加。終了後、提供会員同士が交流する時間を設けた。

⑤提供会員予定者研修会

- * 「提供会員予定者研修会」を11月16日、17日、18日に大岡地区センターにて実施。延べ34名参加。保育3名。

⑥広報

- * 「子育てサポートニュース」を、5月・10月・2月の3回、計1600部発行。全会員・各支部に配付。
- * 「はぐはぐの樹だより」にサポートシステム関連記事を毎月掲載。
- * 裏面に年間入会説明会スケジュールを載せた会員募集チラシを作成し、こども家庭支援課を通じて約1500枚を配布。
- * 幼稚園保護者に向けて会員募集チラシを2130部作成し、全家庭に配布。
- * 区内ケアプラザ、つどいの広場へ会員募集チラシ配架250部
- * 新一年生保護者に向けて会員募集チラシを1450部作成。1～2月の入学説明会で全家庭配布してもらうよう小学校に送付。
- * 広報よこはま南区版9月号にシステムの周知とともに、提供会員募集の掲載（92,700部）。
- * 提供・両方会員向け入会説明会チラシを、こんにちは赤ちゃん訪問員定例会等で配布。50部。区内地区センター、ケアプラザに140部送付。

- * 全会員に「ひとり親等支援事業」周知チラシ配布。515 部。
- * 提供・両方会員に、日本語教室保育ボランティア募集チラシ配布。110 部。
- * 区内の親と子のつどいの広場等へのリーフレット配架 250 部。
- * 保育園保護者向けに会員募集チラシを 3,800 部作成。全家庭配付してもらうよう保育園に送付。

⑦一時保育ボランティアグループ「ぐるんぱ」

- * 登録会員 20 名。定例会（約月に一回）で、運営規約の見直し、保育割り振り・注意事項・振り返り・情報、意見交換、ヒヤリハットの共有を行った。
- * 年間活動回数（保育依頼件数）79 件。（キャンセル 6 件）。総活動者数 150 人。
今年度から、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジからの依頼で、みなみラウンジと永田地区センターの「日本語教室」開催時の見守り保育が加わった。開始に伴い、「ぐるんぱ」以外の提供会員にも参加を呼び掛けた。
- * 乳幼児健診の見守り保育、年間 72 回、延べ 144 人が活動。
- * 赤ちゃん学級の見守り保育（六ツ川コミュニティハウス・蒔田コミュニティハウス）年間 18 回（8 月・1 月休会／9 月中止）のべ 18 人が活動

（９）利用者支援事業 子育てパートナー

①相談件数

	新規相談 件数	継続相談 件数	相談方法			
			面接	電話	出張	オンライン
4 月	20	23	30	6	7	
5 月	20	18	25	6	7	
6 月	16	31	34	10	3	
7 月	18	21	30	2	7	
8 月	9	25	30	3	1	
9 月	16	25	26	4	11	
10 月	16	19	22	4	9	
11 月	15	26	32	2	7	
12 月	11	19	21	4	5	
1 月	12	25	26	2	9	
2 月	11	17	19	3	6	
3 月	13	29	27	6	8	1
合計	177	278	322	52	80	1
	455		455			

②出張相談

	実施会場	実施日
親と子の つどいの広場	さくらザウルス蒔田ひろば	8月5日、12月2日、2月3日
	さくらザウルス六ツ川ひろば	7月12日、10月26日、3月10日
	つどいの広場えの木	5月26日、9月15日
	つどいの広場M-HOUSE 三春台	6月22日、11月17日
地域の居場所	さくらザウルス別所ひろば	4月12日、1月13日
はぐはぐの樹 おでかけ広場	永田地区センター	4月14日、10月27日
	南センター	6月15日、3月1日
	六ツ川スポーツ会館	7月27日、12月14日
	大岡地区センター	5月20日、11月18日
	中村地区センター	9月9日、2月24日

③広報活動及び地域連携

- * 南区内認可保育園、認可外保育施設および幼稚園の保護者向けに子育てパートナーのチラシを配付（74施設 6158部）。
- * 両親学級・土曜両親学級 拠点PR

【地域・施設の子育てサロン訪問】

地域・施設の子育てサロン	訪問日	地域・施設の子育てサロン	訪問日
ほっと mom	4月19日	あかいくつ	9月6日
へいらくひよこクラブ	5月12日	ほっぺ（中里）	10月13日
ぱんだ	6月9日	のびのび	11月4日
カーネーション	7月5日	ぼてと（上第六町内会館）	1月27日
すくすくひよっ子	8月19日	サン・サンディ	3月14日

④会議出席及び関係機関との連携

活動内容	実施日
子育てパートナー連絡会	原則毎月第4火曜日 （8回開催）
子育てパートナー 研修	1月24日
子育てパートナー ブロック会議（オンライン）	9月1日
こんにちは赤ちゃん訪問員定例会 拠点のPRと子育てパートナーの紹介	7月14日
令和4年度第1回南区子育てもっとネット会議	7月11日
みなともネットワーク会議(オンライン)	4回実施
子育て支援者定例会 情報提供	10月7日
オレンジリボン児童虐待防止パネル展 準備、駐在、撤収	11月15～25日
移動情報センター推進会議	2月2日

(10) 会議およびスタッフ研修体制

①定例会議・ミーティング

会議名	基本開催日時	内 容
拠点スタッフ全体会議	第4月曜日 9:00～12:00	拠点スタッフ全員で事業内容検討・実施打合せ・振り返りや情報共有、研修等。
担当別会議	第4月曜日 12:00～13:00	事務・居場所・子育てサポートシステムの担当ごとに、詳細な事業内容検討・実施打合せ・振り返り等。
区・拠点定例会議	第2水曜日 14:00～17:00	こども家庭支援課と常勤スタッフで事業報告と内容検討、情報交換、「相談」「利用者支援」ケース検討等。
常勤スタッフ会議	第1金曜日 13:30～16:00	常勤スタッフで実務詳細の摺り合わせやスタッフマネジメントについて打合せ。
朝ミーティング	毎日 9:20～9:30	安全チェックリスト確認、当日のスケジュール確認、前日からの引き継ぎ事項、急ぎの情報共有等
振り返りミーティング	毎日 16:30～17:00	当日の振り返り、ヒヤリハットの共有、翌日への引き継ぎ事項、連絡事項等

②スタッフ研修

【内部研修】

研修名	実施日
個人情報取り扱い従事者研修	4月25日
幼児救急法	8月22日
「児童虐待の気づきの対応」(南区みなともネットワーク)	9月26日
感染症対策実習「ノロウイルスおう吐物処理について」	9月26日

【外部参加】

* 参加したスタッフは報告書を作成し、スタッフ会議において全体で共有した。

講演・講座・研修名称(主催者)	受講日	参加数
子育てひろば全国連絡協議会 公開セミナー 子育て家庭の「今」を理解し、最前線でささえるために (NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会)	6月5日	1名
地域子育て支援拠点における子どもの発達支援ニーズにどう応える (NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会)	8月3日	2名
横浜市立大学市民医療講座 周産期からその後の子育て期のうつ (横浜市立大学・横浜市こころの健康相談センター)	9月29日	3名

子育て応援講演会 「地域みんなで子育て」のためにできること (一般財団法人女性労働協会)	10月18日	2名
利用者支援専門員講座 (NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会)	10月21日	1名
令和4年度ファミリーサポートネットワーク事業 ファミリー・サポート・センター全国アドバイザー講習会・交流会 (一般財団法人女性労働協会)	10月28日	5名
2022年度子ども・若者エンパワメントセミナー ヤングケアラー ～気づき、つなげる～ (公益財団法人よこはまユース事業企画課)	11月24日	2名
家族支援研修 ダブルケアをしている人を支える仕組みと地域づくり (横浜市健康福祉局高齢在宅支援課)	12月13日	5名
利用者支援専門員講座 (NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会)	12月16日	1名
要保護児童対策地域協議会 南区実務者研修会 叩かない子育て～養育者によりそう～ (要保護児童対策地域協議会)	12月21日	1名
全国アドバイザー講習会 (一般財団法人女性労働協会)	12月21日	4名
オンラインみんなで学びタイム 対人援助の基本 (横浜市拠点ネットワーク)	1月19日	1名
伴走型相談支援と経済的支援 出産・子育て応援交付金を学ぼう！ (NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会)	1月19日	1名
企業価値拡大イベント in みなとみらい (リコー神奈川 NewsLetter 事務局)	2月15日	1名
利用者支援専門員講座 (NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会)	2月17日	1名
情報共有部勉強会 子育て支援の“情報発信コンパス”をつくろう！～カードを使ってメディアリテラシーを身につける～ (よこはま地域子育て支援拠点ネットワーク情報共有部)	2月24日	2名
第54回こどもの健康セミナー「子どもの発達の問題が心配になったとき」 ～令和4年度こどものこころのケアネットワーク事業・公開講座～ (神奈川県立こども医療センター)	2月27日	1名

以上